

★キラリ治田★

あんずホールで 心を合わせた 音楽会



「はじめようコンサート」で始まった令和元年度の音楽会。ご多用な中、多くのご来賓の皆様にもご臨席を賜りました。スポットライトが当たるステージに子どもたちが立ち、「生きている証」を音楽で表してくれました。そして、その命輝く表現に、たくさんの「拍手」をいただきました。お陰様で、音楽表現の喜びが倍増したと思います。ありがとうございました。

合唱や合奏は文字通り「合わせる」というとても難しい表現です。二週間余り特別時間割を組んで、歌声や楽器の「音を合わせる」練習をするなかで、その元となる「心を合わせること」を学びの核心として、磨きをかけて参りました。音楽会のためにオリジナル曲「アップル・スティック 2019」を提供してくださった早川潔先生、音響や照明で支えてくださったホール・スタッフの皆様、移動に伴う輸送関係者、PTA 役員の皆様などすべての皆様にあらためて感謝を申し上げます。

一泊二日 大自然の中で 仲間とともに 生きる



5年生の掲げたスローガンは実にシンプルでした。「協力し合い、楽しいキャンプにしよう」。このことを子どもたちは自覚していました。梅雨時ではありましたが、二日間とも天候に恵まれました。初日は、学校からも見える三峰山への登山から始まりました。聖湖から小休止も入れて40分ほど樹林帯を歩き、山に登った感じを十分味わえるよいルートでした。夕方には協力して屋外でカレーを作り、食後には全員参加で、キャンプ・ファイヤーを囲んで、フォークダンスを楽しみました。一日の業務を終えてお疲れのところ、駆け付けてくれた学校職員も加わって、大団圓。翌日は、お世話になった施設の清掃も入念に行い、「はじめの状態にして立ち去る」という、自然の中での活動の鉄則を守った5学年のキャンプは無事終了いたしました。

治田の子現地に赴く ブラ治田 「治田神社」 編



前号でもお伝えしましたが、4年生は総合的な学習の時間に「ふるさと学習」を進めています。今回は学校のすぐ近く、学校名と同じ名前の「治田」神社を尋ねました。隣接の治田池は農業用水池です。古代の書物にも登場するほどの由緒ある社、学校名の由来にかかわることもあり、子どもたちはしっかりとメモを取り、2時間ものお話に耳を傾け、積極的に質問もしていました。蟹澤川、地獄沢川、佐野川などの「治」水に伴って水「田」開発が進んできたこの地は、つまり「治田」というわけです。語源は墾田(はりた)、荒廃地を開墾するためには、地鎮するなど宗教的な側面も欠かせなかったというお話をお聞きしました。*一連のリサーチ結果は9/28(土)に計画されています「ふるさと物語」で発表を予定しています。

子どもたちのために 環境を整えていただきありがとうございます



音楽会の余韻に浸る間もなく、軽トラでのべ数十回運搬するほどの校地内全体の草刈り、側溝など普段手の届かない場所の泥浚い、尿石除去作業など早朝より「治田小 PTA パワー」を発揮していただきありがとうございます。8/31(土)には第二回の作業が計画されております。再びのお力添えをよろしくお願いいたします。

一学期の成長を振り返る 充電、飛躍のための夏休みに

- 今週はプール参観、23日は早くもプール納めです。唇が紫色、少し寒そうに肩を窄めた子どもたちが、校長室の前で水泳学習の報告をしていってくれます。今年の夏休みは四日間のプール開放を予定しております。工事車両の出入りもありますので十分注意の上、有効にご活用ください。
- 市からの通知(6/21付)の通り、エアコンの設置は、機材の調達等の関係から10月中旬頃に完了予定です。実質この夏休み中に各教室の電気設備工事等を進めることとなります。年間計画でも予定しておりました夏休み中の「保護者懇談」につきましては、事情により中止とさせていただきます。ご理解をお願いいたします。